

2021 Japan National Team Report ” 国代表”



報告者氏名	藤田 陽子
大会名	2021 Asian Oceanian Championship
開催地	タイ パタヤ
大会期間	2021/11/6~13

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当西村までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような語句はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です（文中に貼り付けて下さい）
 2. 他国OP艇を接近して撮影する際は、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい

開催地域の様子	空港についたとたん、防衛服の人ばかりで、感染が落ち着いてきた日本とは、まだまだコロナの状況が違うことを感じました。
宿泊場所	一番困ったのは、アレルギー対応の除去食が、子供用なのに大人でも食べられないような辛さの物が何度か出てきたり、乳製品アレルギーの子にヨーグルトがついていたり、メロンアレルギーの子に、メロンがついていたりして、都度文句を言いましたが、出される物が本当に除去食なのか信じられず、大変でした。
大会の対応は	毎朝入口での検温はもちろんの事、ハーバーでの待機場所は、各チームごとにテーブルでしきられていたり、ホテルとハーバーの移動は、各チームごとなど、徹底した感染対策が取られていました。
選手たちのコンディションは？	食事が3食ともお弁当ということもあり、偏ったメニューで、だんだん食べられなくなってきた子が多く、自分達で用意したおにぎりや、ハーバーで別メニューを注文して、食べていましたが、野菜不足からか、口内炎になる子もいました。
役員として気をつけたことは？	コロナの為に、入国時に必要な書類等が多く、不備がないよう大使館や現地の担当者こいろいろ確認し、チームの皆さんと常に情報共有するように努めました。
海外の選手を見て感じたことは？	英語圏でない選手達も、かなり英語を話せる子が多く、日本チームの子達も頑張ってコミュニケーションを取っていましたが、もっと英語力を身に付けた方がいいと思いました。いきなりレース本番では難しいかもしれないので、NT 合宿の時などに、英語で権利を主張する練習などをするのも、いいかなと思いました。

日本の選手を見て感じたことは？	大会期間中、ずっと風が弱かったので、体格が大きな日本の選手達には、厳しい状況だったと思います。そんな中でも、いくつかのレースでシングルを取る選手が出て、応援力が入りました。
Spare day の過ごし方は？	大会前は、日本チームだけでレスキューを借りることができたので、監督やサポーターも海上にて、練習。大会後は、到着してから、大会終了日まで、ホテルから一歩も出られず、ホテルのプールやジムも使用不可など、かなり厳しい隔離生活だったので、最後の自由日は、観光やお買い物を楽しみました。
日本チームとしての課題	チームレースの経験が、他国の選手に比べて少ないと思います。海外遠征するまでに、もっと集まって練習する機会を増やした方がよいと思いました。
JODAへの要望	アジアは人数が多いので、今回江ノ島の方からお借りできた海外用炊飯器2台は、本当に助かりました。でも、それは個人の御厚意なので、海外遠征用として、JODAの方で貸し出し用を所有いただけたら、今後海外に行かれる方も、とても助かるのではないかと思います。
その他	レース中、後藤コーチが、事細かにレース状況の連絡をくださり、ライブ配信だけではわからない選手達の状況がわかり、本当にありがたかったです。プロテストも2件ありましたが、初めての事に選手達は緊張していましたが、後藤コーチが同席してくださっていたので、安心して自分の権利を主張できたと思います。
	OP 以外の海外遠征がたくさん中止になっている中、今年の海外派遣を決断していただき、本当にありがとうございました。子供達はもちろんのこと、同行した保護者達も、かけがえのない経験ができたと思います。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA海外派遣委員会